

企業訪問 循環型最前線レポート

加山興業(株)

建設廃棄物の選別、破碎を効率化 リサイクル率の向上を目指す 豊川リサイクルプラント

加山興業(株)

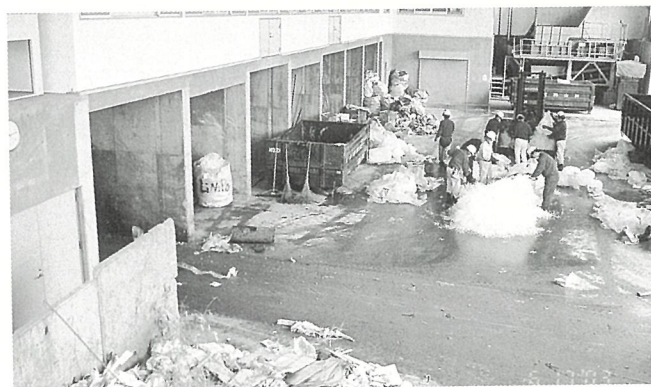
建設廃棄物の選別、破碎処理部門を集約。 豊川リサイクルプラント

建設リサイクル法の施行により、解体現場ではミ
ンチ解体から手解体に変わり、廃棄物の分別は確か
に改善されてきました。しかし、収集運搬時には依
然として混合状態にあり、再資源化、リサイクル率
の向上のためにはさらに細かく廃棄物を選別する必
要があります。加山興業(株)(代表取締役社長/加
山昌弘)では、こうした建設廃棄物のリサイクルに
向けて処理部門を集約し、選別の効率化、破碎処理
を主体に豊川営業所に新たにリサイクル部門を拡充。
同営業所近接の北側に敷地約8842m²を確保し、建設
廃棄物処理の専用リサイクル工場豊川リサイクルプ
ラント(豊川市南千両2-1)を平成14年に完成。建設リ
サイクル事業に本格的に乗り出しました。

選別と破碎を一体化。チップ製造ラインも 充実。

同施設が建つ敷地は豊川営業所の約2倍近くあり、
その1/2スペースに全長80mのリサイクルプラント
があります。建物は一部2階建てで、プラント内には
建設混合廃棄物の選別を行うラインと、木くずから
チップを製造する破碎ラインで構成されており、廃
棄物の投入から、選別、破碎をコンベアーで一体化
し、一部手選別を除いてほぼ自動化されています。

廃棄物はまず選別の前処理工程として、土や砂を



代表取締役社長/加山 昌弘

■所在地/名古屋市熱田区南一番町15-5 ■創業/昭和26年

■事業所/本社、豊川営業所、豊橋営業所

■豊川営業所・豊川リサイクルプラント/豊川市南千両2-1

■取得許可/産業廃棄物収集運搬:愛知県・名古屋市・豊橋市・
豊田市・岡崎市・岐阜県・静岡県・浜松市・岡山县 産業廃棄
物中間処理:愛知県 特別管理産業廃棄物収集運搬:愛知県・
名古屋市・豊田市・岡崎市・静岡県 特別管理産業廃棄物中間
処理:愛知県

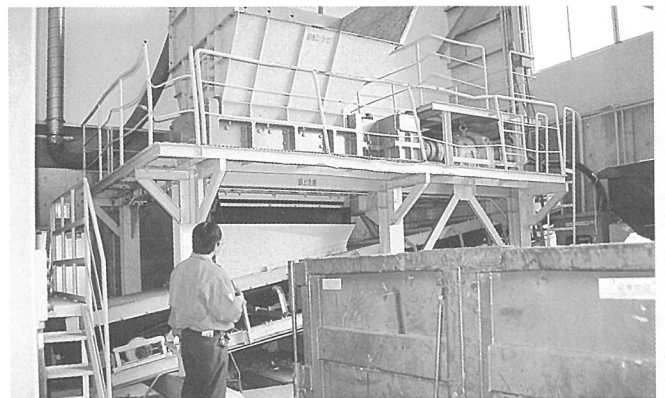


方、集中力、作業性など様々な角度から手選別の訓練を行い、独自のマニュアルづくりに取り組んでおり、コストパフォーマンスとマテリアルリサイクルの両面から社員教育を積極的に行っています。

新たなリサイクル事業を検討。

同施設が建つ敷地内の残り1/2スペース、約4000m²と旧工場を利用して家電関係のリサイクル事業とバイオマス発電を検討中で、地元行政や県と打ち合せ、法律や許可など調整を行っているとのことでした。

ふるいで落とし、上部の選別ラインへ運ばれます。選別ラインでは、廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、ガラスくずなど品目別に人を配し、手選別で下のヤードにおとし、金属くず等は磁気などを使って選別します。木くずはそのまま破碎ラインに運ばれ、一次破碎、二次破碎し、製紙用、燃料用、堆肥用のチップを製造し、販売しています。同社はチップの製造、販売にも力を入れています。品目別に選別された廃棄物は再資源化業者に引き渡されます。石膏ボードはハウスメーカーと提携し、選別後メーカーに引き渡し、再びマテリアルリサイクルされます。同施設は東三河地域では最大の規模を誇り、この地域での今後の建設廃棄物処理の大きな受け皿になり、現在70%程度の稼動状況で今後はさらに需要を見込んでいます。



選別の効率化に向けて社員教育を徹底。

建設廃棄物のリサイクルで最も困難な作業が選別です。選別の効率化と正確さがリサイクルにつながる重要な要因になります。同社ではこうしたことから選別ラインでのコンベアーのスピード、選別の仕

